

男女が共に参画し 多様な生き方が選択できる社会をめざして

新潟県女性センター情報

No.124 2021年2月発行

「自分らしくって、何だろう？」

ぶっくばらんす3号「やっぱりかわいくなきゃダメ？」3月発行！



女性財団が「子どもと男女共同参画」をテーマに毎年制作している「ぶっくばらんす」が3月に発行されます。

今回は、「かわいいモノ」や「読モ(どくも*)」に憧れる小学6年生のルナちゃんが主人公です。

ルナちゃんは、友だちとファッションやかわいいモノについておしゃべりするのは楽しい！

でも、陸上も大好き。読モにも興味津々で、「かわいくなりたい、やせたい！」と思うけど、食べるのも大好き！と思っています。

ココロもカラダも成長期のルナちゃんは、「いろんな好き」に囲まれています、心は揺れ動いている

「自分らしくって、何だろう？」と、子どもと一緒に考えてみませんか？

*読モとは：読者モデルの略。ファッション雑誌のモデル募集やスカウトによって選ばれた素人モデルのこと。

【既刊本】これまで発行された「ぶっくばらんす」もぜひご覧ください。

【1号】

「ねえ、どんないろがすき？」
女の子だからピンクが好きなのかな？男の子のピンクは変？
「色」を切り口に考えていきます。

NHK「あさいち」で紹介されました。



【2号】

「だって、おとこだから？」
父のように男らしくなりたいと願う小学3年生の龍勢君。
「男なんだから・・・」、「男のくせに・・・」。何気ない言葉から「男らしさ」を考えていきます。



☆ご希望の方は、当財団までお問い合わせください。

☆これまで発行した啓発誌もホームページにてご紹介しています。

会 員 情 報



〈女性活躍・両立支援推進に向けた取組み〉

第四北越銀行では、女性管理職の育成に向けたキャリア開発支援や女性職員の職務領域拡大、および仕事と家庭の両立支援に取り組んでいます。

〈女性財団主催セミナーの受講〉

職員の生涯学習の推進やネットワークの形成支援のため、女性財団が主催するセミナーを案内しています。昨年度は13講座に20名以上が受講。さまざまなテーマがラインナップされていることに加え、県内各地で開催されていることや一時保育も利用できることから、子育て中の女性職員にも好評でした。

〈育児休業者復職支援セミナーの共同開催〉

育児休業取得者がスムーズに職場復帰し、育児と両立しながらキャリアアップも実現できるよう、女性財団の専門員と協働でセミナーを開催し支援しています。復職後のキャリア形成に向けた意識啓発や仕事と育児をうまく両立するためのノウハウの習得につながる貴重な機会となっています。



セミナーの様子



○ 第四北越銀行ホームページ

<https://www.dhbk.co.jp>



トピックス

「第5次男女共同参画計画」

～すべての女性が輝く令和の社会へ～ が策定されました。

昨年12月25日、今後5年間の国の政策の方向と具体的な取組み、成果目標を定めた「第5次男女共同参画計画」が閣議決定されました。この中では、

- ① 社会のあらゆる分野において「指導的地位に占める女性の割合」を30%程度に
- ② 仕事と生活の調和（男性の育児休業取得率を30%にetc）
- ③ 女性に魅力的な地域づくり（若い女性の転出割合の低減etc）
- ④ 科学技術分野への女性の参画拡大（女子学生・生徒の理工系の選択促進etc）
- ⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶（性犯罪・性暴力 ワンストップ支援センターの整備etc）
- ⑥ 貧困等生活上の困難に対する支援（ひとり親家庭への支援etc）
- ⑦ 女性の視点からの防災・復興 などが示されています。

なお、これまで検討されてきた「選択的夫婦別氏制度の導入」については、「夫婦の氏に関する具体的な制度の在り方に関し更なる検討を進める」こととされています。

来年度には新潟県の「男女共同参画計画」が改訂されます。ご注目ください！！

【編集後記】オンラインセミナーが増えています。新型コロナ対策でやむなく始めてみましたが、遠隔地からでも参加でき、これはこれでイイのかな？パソコンさえあれば本当に簡単。「習うより慣れ」です。始めてみたい方、お気軽に財団にご相談ください。（けい）

編集・発行 公益財団法人新潟県女性財団

〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階・新潟県女性センター
電話:025-285-6610 ファックス:025-285-6630 メール:npwf@npwf.jp
ホームページ: <https://npwf.jp>



Facebook、Twitter も更新中！「新潟県女性財団」で検索！！

ホームページQRコードから ↑